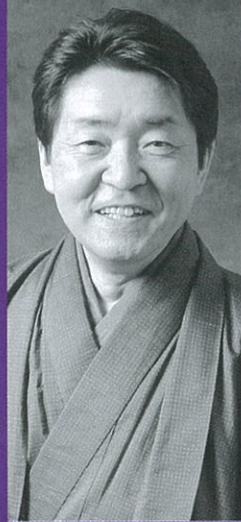


# 中西和久 朗読講座



ふるさと茨木ゆかりの文豪川端康成  
その名作「伊豆の踊子」を朗読してみる  
あなたはワンスンテンスの主役！

説経節三部作「しのだづま考」「山椒大夫考」「をぐり考」や  
コンサートドラマ「ピアノのはなし」など

独自の劇世界を創造してきた中西和久ならではの朗読講座です

## ■講座内容

朗読体験 テキスト：川端康成「伊豆の踊子」ほか  
※テキストは当日配付します。

## ■開講日

- ①5月11日 [金] 14:00～16:00 (受付・開場13:45)
  - ②5月12日 [土] 14:00～16:00 (受付・開場13:45)
- ※2回の講座は同じ内容になります。実施日ごとに募集します。

## ■会場

茨木クリエイトセンター2階・多目的ホール

## ■対象・定員

中学生以上の方、各回20人

## ■受講料

1,000円 (開講日当日受付でお支払いください)

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

## ■申込受付開始日

3月17日 [土] 9:00 (電話にて先着順にお受けします)

## ■申込・問合せ先

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00～17:00)



中西和久 なかにし・かづひさ

劇団「芸能座」で俳優修業。初舞台は、1977年『浅草キヨシ伝』（作／井上ひさし・演出／小沢昭一）の川端康成役。1986年から自作のひとり芝居『火の玉のはなし』（原作／組坂繁之）をもって全国行脚を始める。『しのだづま考』（作・演出／ふじたあさや）の演技で1991年度文化庁芸術祭賞を受賞。同作品で、国際交流基金主催公演として韓国主要都市を巡演、東欧2ヶ国の国際演劇祭へ招待参加、1998年には新国立劇場開場記念賛助公演を務める。2008年ロシア・エカテリンブルグ国際演劇祭特別賞などを受賞。同年『しのだづま考』モスクワ芸術座公演で絶賛を博す。NHKBSプレミアム『心はものに狂わねど～中西和久説経節ひとり芝居』、NHKBSハイビジョン特集『作兵衛さんの炭鉱』。KBCラジオ『中西和久ひと日記』。福岡県文化賞、松本市民劇場賞最優秀俳優賞、倉林誠一郎記念賞受賞。著書「ひと日記～このひとに会いたい」（海鳥社刊）ほか。京楽座主宰。

■川端康成は、3歳から旧制中学（現茨木高校）を卒業する18歳までを茨木で暮らしました。もっとも多感な、人間形成にとって重要な時期であり、それはまた文学への志を育んだ年月でもありました。

平成27年度からはじまったこの講座では、康成ゆかりのふるさとおける取り組みとして、毎回康成の作品をテキストとしています。これまでに“掌の小説”から「雨傘」、「木の上」、「日向」を朗読してきました。そして、今回は「伊豆の踊子」に挑戦します。あなたもワンセンテンスの主演となって、康成の青春を体験してみませんか。



■写真は昨年の講座の様子です。ラジオ体操、ストレッチからはじまり、朗読体験は川端康成の“掌の小説”から「日向」をテキストとしました。また、「外郎売」の口上や説経節から「山椒大夫」の一節など、語り芸の実演を交えた中西さんならではの講座を体験いただきました。



◆申込・問合せ

（公財）茨木市文化振興財団 072-625-3055（クリエイトセンター1階 9:00～17:00）

クリエイトセンター（茨木市市民総合センター）茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726

